

やさしさと香りのある暮らし

Sanders Perry Garden

サンダース・ペリー・ガーデン



サンダースが生まれる
現場を訪ねて

あーやの笑顔のもと／明野ハーブ農場だより



サンダース・ペリーが生まれる現場を訪ねて

有機栽培ハーブの育成・研究、およびオリジナル原料の自給調達の実現に向けた事業に取り組んでいます。農場がある山梨県北杜市明野町は、富士山、南アルプス、八ヶ岳に囲まれた、標高800mに位置する丘陵部。日照率50%以上という日本一太陽の光が注ぐ町です。自然の力が凝縮された場所で育てています。



愛知県名古屋市にあるサンダース・ペリーを擁するネイチャーズウェイの自社工場。製造から管理、出荷までの全行程を行っています。こだわりと愛情が詰まった、サンダースの現場をご紹介します。

四季の作業

種まき、苗植えつけ

種や苗を植えた後は、冷たい風から守るため、上からもみ殻を敷き詰めます。まるで、ふかふかのベッドのようです。



春



夏

雑草とり

無農薬の土地は雑草が元気に育つため、定期的に社員が雑草取りを行います。有機農場は雑草だけでなく動物もお気に入り。ミミズを探してモグラが穴を掘ってしまったりします。

収穫

一本一本手で収穫し、エキスを抽出する部分を天日干しにします。また、根からエキスを抽出するハーブは、栄養が花や種に偏らないように、先に花だけを摘み取るなどして調整しています。



秋



冬

耕す

ハーブ達は休眠していますが、害虫は土の中で越冬しています。土を耕すことで表面に出てきた害虫を凍死させ退治します。

農場こぼれ話

自然豊かな農場は虫がいっぱい。害虫駆除は、できるだけ自然な力を活かした方法を取り入れています。虫が嫌いなハーブ「マリーゴールド」を植えて虫除けにしたり、それでも発生したら「指でつぶす」という原始的な方法で…。



夢のかたち

「本当に安心して使える化粧品を作りたい。届けたい。」その気持ちからスタートした農場ですが、有機栽培の原料の実用化を目指して、少しずつですが出来ることから前進をしています。いずれは、原料を自給調達した商品をお届けできることを目指しています。



有機JAS認証の取得

明野ハーブ農場は2012年6月に農場の認証を受け、続いて今年2013年6月にハーブの認証も取得しました。日本ではオーガニックコスメに関する法的定義が存在しないのが現状ですが、食品分野においては世界各国ともに法的な規制のもと厳格な定義があり、日本では「有機JAS」がこれにあたります。つまり、有機JAS認証を受けたハーブは、国が認めた公的な有機(オーガニック)農産物であり、安全なものと言えるのです。

手付かずの土地を求めて

開墾前の農場には小木や雑草が生い茂り、大石がごろごろ。機械を使って掘り出したり、小さな石はひとつひとつ手で拾い、土をふるいにかけて耕しました。農業・化学肥料を使用した農地は、3年間、有機認証を得ることができません。だからこそ、手付かずの土地を選びました。



2010年開墾前の農場

手づくり製法

原料の寒天や植物エキスなどをかき混ぜる、攪拌(かくはん)とよばれる作業は、職人レベルの高い技術を要します。デリケートな自然素材はムラがあるため、一律の時間、一定のスピードでかき混ぜても同じものは出来上がりません。日によって、ミキサーを調整し、丁寧にかき混ぜます。決して、機械任せにはできない仕事です。



〜製造編〜

小さなことからエコ

ミキサーについているクリームも最後まできれいにとって使います。小さなことかもしれませんが、無駄を出さないことはエコにつながります。



音楽仕込み

音楽仕込みに初めて取り組んだのは、2006年のこと。現場のアイデアで、品質検査待ちのバルブを置く部屋は、クラシックが24時間流れています。ベートーヴェンやモーツァルトを聴かせてつくる化粧品には、職人たちの愛情が詰まっています。



〜充填編〜 (じょうてん)

正面を向いてご挨拶

包装するときは、ボトルと化粧箱の正面同士を合わせて手作業で箱入れしています。お客様がボトルを取り出したときに、正面を向いて対面ができるための小さな工夫です。お客様との出会いがより良いものになること願って包装しています。



いつもキレイな現場作り

自然原料の化粧品はデリケート。そのため、徹底した衛生環境で管理しています。機器は、お手入れが難しい細かい隙間の汚れもしっかり落とせる、超音波洗浄をおこないます。また、仕上げは、菌やホコリが入らないように、必ず乾燥機を使用します。

ハーブのおもてなし

番外編

名古屋本社2階のテラスにはゼラニウム、ラベンダー、タイムなどのハーブを育てているスペースがあります。会社を訪れたお客様に、自然の季節の移り変わりを身近で感じて頂けたらという想いが込められています。





あやの笑顔のもと

★美肌キープの秘訣★

★一リラックスしてお手入れ★

こ んにちは、平原綾香です。今回のテーマはキレイの秘訣ということですが、私自身、肌の調子が落ちてきたのは最近になってからのこと。実は、学生時代や大人になって間もなくの頃は、よく吹き出物に悩まされていました。TVの仕事をしていると肌の調子が悪いとすぐにわかってしまうので、本当に気をつけています。

お 手入れは色々なものを試してきましたが、私の秘訣は「ずばり、やりすぎないこと！」。クレンジングでも、力をいれすぎないように気をつけて、自分が気持ちいいなと思うぐらいの加減でリラックスしながらお手入れをしています。

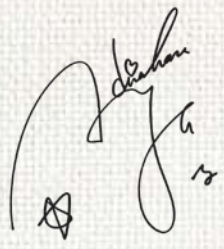
サ ンダース・ペリー化粧品のアイテムの中では、サンフラーワートイッシュオイルが一番のお気に入りです。毎日愛用しています。ポイントメイク落としにもなるし、肌がいきいきするのを実感しています。

ゴ スメティッククローションも私の外せないアイテムの一つ。これがあれば肌の調子が落ちつく、私のお守り的なコスメで、すっぴんとする爽やかなハーブの香りも大好きです。みなさんのお気に入りは何かな？ 実は、ワクワク楽しみなながらお手入れをするのが、一番の秘訣かもしれません。



平原綾香 [ひらはらあやか]

1984年東京生まれ。2003年ホルストの組曲『惑星』の「木星」に日本語詞をつけた『Jupiter』でデビュー。日本武道館公演(2006年)を含む9度の全国ツアーを行っている。父はサクソフ奏者の平原まこと。祖父はジャズトランペッターでホットペッパーズの平原勉。
11月13日シングル「Shine-未来へかざす火のように」発売
12月4日ニューアルバム「What I am」発売



いつも透明感があり、健康的なツヤ肌が印象的な平原綾香さんのキレイの秘訣、教えます！



収穫日和

10月24日、台風上陸といわれていたましたが、日照時間日本一の明野町では雨が降らず、午前中には晴れ間がさすお天気となりました。そんな中、アルテア、オウゴン、エキナセア、セイヨウノコギリソウの収穫や、セージ、タイムなどの移植や収穫作業を行いました。なかでも秋まで土の中でじっくりと育てたアルテアの根を収穫するのは一苦労。大きすぎて、一度では抜けずにスコップで何度も掘り起こしていきます。さらに、八方に広がっている根は、1本ずつ切り分けます。この日は、たくさんのハーブが収穫を迎えました。



収穫したセイヨウノコギリソウ、セージ



アルテア根の掘り起こし



アルテア根の切り分け



来年に向けてセージを移植



天然ミネラルが毛穴とくすみをカバー。

隙のないなめらかな肌へ。



New ナチュラグラッセ新商品情報 - 10月21日(月)発売 -

しっとりした肌あたりとやわらかな質感を演出するエマルジョンタッチのファンデーション。ヴェールをかけたように自然に毛穴やくすみをカバーし、セミマットな隙のない美肌に仕上げます。

ファンデーション モイスチャートルテ 全3色 パフ付き SPF36 PA+++各5,670円(税込)

- BE1 ライトベージュ 明るめのベージュ
- NO1 ライトオークル 明るめのオークル
- NO2 ナチュラルオークル 自然なオークル



[なめらかにフィットする秘密] 肌なじみのよさを実現するのはココアバター(カカオ油脂)。体温でなめらかな状態になり、肌にしっとりとなじみながら、毛穴やくすみをカバーします。